

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300068
法人名	株式会社 セカンドライフ
事業所名	グループホーム西南
所在地	鹿児島県鹿屋市池園町2297-7 (電話) 0994-34-1008
自己評価作成日	平成22年5月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年6月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園が広がり、自然豊かな環境の中に当ホームはあります。1棟が開設3年目、2棟が開設2年目を迎え、やっと地元の方々にも認識されてきたと思います。

当ホームは、「笑顔の絶えない毎日を。貴方と、家族と、私達と、地域と共に。」を理念に掲げ、理念に沿ったサービス提供を目指しています。

まだまだ理想とするホームにはほど遠いですが、スタッフ一人ひとりが考え、模索し、すこしでもそれに近づこうと努力している現状です。

地域密着型サービスの意味を踏まえ、もっと地域の中に根ざして行きたいです。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・町内会に加入して地元住民の相談やセミナーへの呼びかけ、保育園児の来訪時の送迎など、ホームへの理解者や協力者を増やす工夫を重ねている。
- ・職員の意見や要望をよく聴き、意見等を運営に反映させている。このような職員重視の取り組みにより、離職者の少ない職場づくりという効果にもつながっている。
- ・職員の資格取得や研鑽への支援体制が充実している。
- ・職員は働きやすい職場環境の中で笑顔をモットーに、利用者の立場に立ったケアを心がけて日々を共に支え合っている。
- ・利用者の表情も明るく穏やかである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者に対し、自分達はどうありたいか？どうあるべきか？、又、どう支援していきたいかを考え現在の理念をかかげる。職員会議等にて繰り返し考え、実践している。	グループホームの理念を作成し、運営規定やパンフレット・玄関・ホールに明示し、職員会議等で確認し合い、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園との交流会、中学校の職場体験受け入れ、消防団の訓練参加等交流の機会を設けているが、日常的なことと言えるのは、散歩の際の挨拶、立ち話程度である。	町内会に加入しており、小学校の運動会に参加したり、文化祭に出品したり、中学生の職場体験受け入れ、保育園児の来訪・近隣住民の相談受け入れ・セミナーへの参加呼びかけなど、地域の人達との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	相談等には気軽に応じている。又、グループホーム協議会のセミナー等の案内、参加を運営推進会を通じて呼びかけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の現状報告、監査結果等報告。ホームが抱えている問題点や改善事項に関し、良きアドバイスを頂いている。	会議は家族や地域の代表・行政担当者の参加を得て、定期的開催している。ホーム運営や職員異動・地域情報・老人クラブからの見学申し出などの意見交換がなされ、ホームの理解やサービスの質向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>高齢福祉課・包括支援センター、運営推進会議に出席していただき、相談、助言を頂いている。行政の主催する研修会等積極的に参加している。</p>	<p>ホームの取り組みや利用者の身体状況・入退去や更新手続きの相談等を行っている。また、市開催の研修会に毎回参加し、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム自体の拘束廃止委員会規定を作成し、拘束における弊害等定期的に勉強会のテーマに上げている。我が親、自分自身におきかえ日々のケアを行っている。</p>	<p>ホームで「拘束廃止委員会規定」を作成し、人格を守ることをケアの基本として勉強会を行い、職員の共有認識を図っている。安全確保の上で、自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についても定期的に勉強会のテーマに上げ、繰り返しスタッフへ周知、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関しては、まだまだ勉強不足であり、今後、スタッフと共に研修の参加・勉強をして行きたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前の相談、入居時と、時間を掛け説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	普段から、利用者・家族が意見、不満等なんでも言える関係作りに努めている。運営推進会議、家族会、玄関にはご意見箱を設置し環境づくりに努めている。出された意見は、職員会議等にてスタッフに周知し反映させている。	各居室に個別面会簿を設けている。また家族の来訪時に利用者と一緒にサービス会議を行い、要望や意見を聞くようにしている。出された意見等は運営に反映させ、質向上に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会、毎日のミーティング、業務の中で意見・要望等聞いている。又、スタッフから何でも言ってもらえる職場環境作りに努めている。	年2回、食事会や個別に話し合う場を設けて、職員の意見や悩み等を聞いている。代表者・管理者は、業務体制・資格取得・利用者の入退去・配置異動等について、職員の意見を聞き、ホーム運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得の支援や定期的な面接等を行い、スタッフの意見や悩み等を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修内容により、スタッフの力量に合わせ積極的に参加してもらっている。又、日頃から気付いたことはその場で指摘するようにしており、やかましく思われているのでは？</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>年に数回、他のグループホームと合同の研修会を開催している。GH協議会にも加入しており同業者との交流も多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に本人・家族に面会。話を伺っている。できるだけ環境の変化によるダメージを軽減したいと考える。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の相談、入居契約時に十分に思いを伺っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>要望、話しを十分伺い、アドバイスができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>スタッフと利用者、利用者と利用者ではなく、一つの家族として接することが理想であり、実現できるよう努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へは入居前の面談にて、家族の支え、協力等必要性を話している。帰宅願望のあるとき、受診、衣替えその他色々、家族とはもちつもたれるの関係である。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人や場所への支援は、数名のみで全員への支援はできていない。	利用者の心身の状況や希望に応じてドライブをかねて自宅訪問や墓参り、家族と一緒に見舞いに出かけたり、友達や身内の人々の来訪などの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が居室へ「お茶やっど」と呼びに行かれたり、ソファにて楽しく話をされている。しかし、好き嫌いがあるようで、スタッフは人間関係を考え気配りを行っている日常である。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もホームとしてできる事、協力できることは率先していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の希望、要望等日常の中で聞きだしている。買い物や散髪、外出等色々な希望がある。性格的に要望等言われない方もおられ家族へ聞いたりしている状況である。	日々の関わりの中やサービス会議等で思いや意向を把握している。また、職員は家族から情報を得ながら、入居者の思いに応えられるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴、性格、趣味嗜好等家族からの情報と、日々接する中で一人ひとりを把握することに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人ができる事、できない事、必要としていることを把握し、可能性を考え、その人らしく過ごせるよう模索している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会等にて検討している。家族へ生活状況を説明し要望を伺い介護計画を作成している。	本人や家族の要望をもとに職員全員でアセスメントやモニタリングを定期的に行い、本人本位の介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤・夜間と、個別に記録をしている。スタッフは他の記録も読むようにしており、情報を共有し日々のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人、家族、介護者、地域資源に合わせたニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、散髪 その他、行政関係の申請、手続き等 家族のできないこと等支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望によりかかりつけ医を決め、Drに継続的に医学的管理を行ってもらっている。又、かかりつけ医以外にも協力医療機関にて対応していただく体制がある。	本人や家族等の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診を継続できるように協力医療機関との連携体制をとり、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護事業所と契約。20年11月より週1にて訪問看護、月1回Dr訪問診療の体制である。毎回、同じ看護師が来てくださり、スタッフ・利用者共になじみの関係が形成されている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者と密に連携を図り、本人、家族をサポートしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ホームの「重度化における対応(看取り)の指針」にて、本人、家族の意向、かかりつけ医、スタッフの意見を考慮し、方針を決めていきたい。</p>	<p>重度化や終末期について、ホームの指針を作成し、家族等や主治医・看護師等と話し合っている。また、職員も方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変・事故に対してマニュアルが掲げてあり、消防署が主催する救急救命士の講習等毎年参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いの消火避難訓練、消防団参加の訓練をそれぞれ年一回実施しており、又、職員会等にて繰り返し災害については話をしている。協力体制は、運営推進会議にて地元の町内会長等に協力をお願いをしている。</p>	<p>年2回、消防署や消防分団の協力のもとに避難訓練を実施している。通報システムも充実している。地域との協力体制も整いつつある。災害時の食料・飲料水の備蓄・発電機も設置している。各居室の入口にカードがあり、搬出したら終了カードが出るように配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報に関しては、契約の際家族と契約書を交わし個人情報使用の範囲を決めている。誇りやプライバシーを損ねる言葉使い、対応については職員会等にて繰り返しスタッフに話をしている。	職員は言葉使いの乱れは、ケアの乱れになるという事を認識しており、職員会議時やその都度注意喚起している。個人情報保護の視点から面会簿は各居室に備えている。入居者の尊厳を大切にしながら、その人らしい暮らしを支えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から、自己決定を促すような支援を行っている。利用者から何でも言ってもらえるよう人間関係・信頼関係を築けるようスタッフに繰り返し話しを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースにあわせ支援しているが、スタッフの都合にて希望に副えないこともある。一人ひとりの生活リズム、ペースを大切に、希望に副えるように努めたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	スタッフが髪を切っており利用者、家族も喜ばれている。化粧については、普段はほとんどされていないが、誕生会等の時は声をかけ普段とちよっと違った容姿である。喜ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日毎食ではないが、皆で食材の切り込み、揚げ物、炒め物等楽しく行っている。茶碗を洗ってもらったり配膳等できる人にはしていただいている。	職員と一緒に下ごしらえや配膳・食器洗いなどを行い、食事を楽しんでいる。また、時々宅配の食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	昼は魚、夜は肉といったように、バランスを考え食事の提供を行っている。食事量の多い人少ない人それぞれ個人の要望に応じている。本人の嗜好、疾病、状態に合わせた支援を実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアに関しては、係りを決め実施し、チェック表にて忘れの無いようにしている。又、ご家族の希望にて、訪問歯科を利用しており、スタッフも、Drより口腔内の状態や口腔ケアのやり方等指導を頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターン・量等把握に努め、少しでもトイレにて排泄できるよう支援している。	排泄動向を記録し、パターンを把握している。本人の意思を大切にしながらトイレ誘導に心がけて、自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を毎日チェック、ケース記録とバイタルチェック表に記録している。便秘の要因・影響を理解し日頃から、水分、食物には注意し工夫をしている。運動には、散歩・体操を日常の中で取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日が入浴日であり、入浴したい人は毎日でも入浴できるようにしている。時間に関しては、午後3時すぎからの入浴時間であり、一人ひとりの希望に沿ってのものではない。しかしスタッフ間にて、できるだけ家での入浴時間に近づけるよう話し合っている。	入浴日は決めていない。一人ひとりの習慣や希望に応じて入浴支援をしている。個浴や利用者2人での入浴を楽しんでいる。また入浴を拒む利用者に対しては、言葉かけや職員を交代して対応している。シャワー浴も随時対応して、入居者の清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	うとうとされている方には昼寝を勧めたり、ソファ等にて眠っている方にはさりげなく毛布をかけたり気配りに努めている。夜も皆様、眠たい時に部屋に帰り休んでおり消灯時間等は設けていない。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤の説明・内容についてはケース記録に綴じておりスタッフがいつでも見られるようにしている。薬剤の変更時には、申し送りノート、ミーティング等にてその都度説明している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、干し、行事(そば打ち、餅つき)、食事の準備等、できることにて自分の役割を感じてもらえるよう支援している。		
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩やドライブ、日光浴、外出等支援している。	散歩・週2回の買い物・外食・花見・ロケット基地や海岸にドライブを兼ねて出かけている。自宅訪問や外泊など、なるべく出かける機会づくりの支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人、少しであるが自分でお金を持ち管理している。又、数人は事務所に預けており、買い物、ほしいもの等買ってほしいと頼まれている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人から「〇〇に電話をかけついたり、手紙のやり取りができるように支援している状況。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じていただくよう、季節ごとに貼り絵等工夫をしている。</p>	<p>窓から広大な畑が眺められ、高い天窓からの明るい採光や音・換気の配慮が行き届いている。接客ルームや畳の間・デッキなどがあり、テーブルやソファが設置されている。随所に観葉植物や季節の花・手作りの工作物が飾られ、居心地のよい共用空間となるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テラスやリビング・ローカにソファや椅子を置きゆっくり過ごせる空間になっていると思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族に、使い慣れた物品について説明をしている。数人の人は椅子等持ち込んでおられる。</p>	<p>居室には、時計・花・家族写真・週刊誌・カレンダー・工作品・化粧品・日記帳などの使い慣れたものが持ち込まれ、居心地のよい居室となるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ローカ、トイレ、居室入り口等手すりを設置し、自立支援、危険防止等工夫はしてあるが、一人ひとりに合わせたものではない。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない